

業績一覧表〔博士課程〕《記入例》

(様式1-2表)

※必要に応じて行を挿入(削除)してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。

※各添付資料の右上に資料番号を記載し、本表の該当する資料番号欄へも記載してください。なお、資料番号は、各添付資料と本表との関係が分かるものであれば構いません。

行数を増やして3ページ以上に
なった場合は、
以下のとおり枝
番を付けること。
↓
1ページ目:
(様式1-2-1)
2ページ目:
(様式1-2-2)
3ページ目:

奨学生番号	6	○	○	0	6	○	○	○	○	○	○	学籍番号	○○○○○○○
氏名	○○○					研究科名・専攻名					○○研究科○○専攻		
1. 学位論文その他研究論文													
【博士論文】	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無	評価	博士學位論文の有無について、該当する方に○を付けること。 「評価」欄は空欄にしておくこと。 →「有」の場合、「評価」欄は後日大学で成績を記入する。							資料番号	
学位論文「	(論文名)					」							
研究作品「	(作品名)					」							
作品は○○財団の「○○賞」を受賞(専攻で1名選ばれる優秀作品として受賞)													
※査読付き原著論文の有無、論文・学会で受賞・表彰は右欄に○を記載してください。											査読付き 原著論文	受賞 ・表彰	資料番号
【研究論文】													
(↓例:該当する業績がある場合は以下のように記載すること。)													
1. ①(本人氏名、共著者名)、											○	「資料番号」 欄には、各 業績に該当 する資料の 番号を記入 すること。	
②「(論文名)」、													
③「(学術雑誌名)」、④(発行日)													
2. ①(本人氏名、共著者名)、②「(論文名)」											○		
③「(学術雑誌名)」、④(発行日)、⑤掲載決定(予定)													
【学会での発表】													
(↓例:該当する業績がある場合は、以下のように記入すること。)													
1. ①(本人氏名、共同発表者名)、②「(題目)」											○	【研究論文】 本学選考基準第5条 (1)ハの業績に該当 申請要領3ページを 参照すること。	
③「(会議名)」、④主催者名、⑤(発表日)、⑥●●ポスター賞受賞													
2. ①(本人氏名、共同発表者名)、②「(題目)」													
③「(会議名)」、④主催者名、⑤(発表日)													
※1 博士論文、査読付き学術雑誌への原著論文掲載、論文及び学会での発表に対する表彰又は受賞がない場合、こうした実績が挙げることができなかった事情があれば、その事情を記載してください。 ※2 日本学術振興会の特別研究員に採用され奨学金貸与を辞退した場合、または、これと同等な民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退することとなった場合には、その旨を記載してください。 ※3 機構以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得等があれば記載してください。													
(例) 平成31年4月より、日本学術振興会の特別研究員(DC2)に採用されたために奨学金を辞退。													
※1~※3に該当する事情で論文を作成していない場合は、理由を上記(例)のように記入すること。 「1. 学位論文その他研究論文」を業績として申請する場合は、この欄は記入する必要なし。													
2. 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果													
※大学院設置基準第16条は修士課程の修了要件に関する規定であるため、本項目に博士(後期)課程は該当しません。													
3. 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果													
※大学院設置基準第16条の2は博士課程の前期の課程の修了要件に関する規定であるため、本項目に博士(後期)課程は該当しません。													
4. (専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)											資料番号		
①(本人氏名、共著者名)、②「(著作物名)」												【博士の場合、この欄は記入不可。ただし、欄の削除も不可。このまま残しておくこと。	
③(発行日)、④出版社等 ⑤(該当する場合)受賞履歴、受けた評価等													
本学選考基準第5条(5)の業績に該当申請要領5ページを参照すること。													

【博士論文】
本学選考基準第5条
(1)イの業績に該当
申請要領3ページを
参照すること。

【研究論文】
本学選考基準第5条
(1)ハの業績に該当
申請要領3ページを
参照すること。

【学会での発表】
本学選考基準第5条
(1)ハの業績に該当
申請要領3ページを
参照すること。

本学選考基準第5条
(5)の業績に該当
申請要領5ページを
参照すること。

■業績一覧表〔博士課程〕 《記入例》

(様式1-2裏)

奨学生番号	6 ○ ○ 0 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	学籍番号	○○○○○○○○
氏名	○ ○ ○ ○	研究科名・専攻名	○○研究科○○専攻
5. 発明		資料番号	
※特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分を記載し、発明（考案）者名、出願番号、出願日、特許番号、実用新案番号、登録日等を記載すること。		「資料番号」欄には、各業績に該当する資料の番号を記入すること。	
6. 授業科目の成績		資料番号	
①授業名：	②履修年度：		
③評価の内容（具体的に）：			
7. 研究又は教育に係る補助業務の実績		資料番号	
①ティーチングアシスタント業務（業務期間：2017年○月～2018年○月）			
②業務内容：			
③学内での功績等の特記事項：			
8. （専攻分野に関連した）音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績		資料番号	
※発表会・コンクール等の名称、開催日、開催場所、順位（●●人中●位）などを記載してください。			
※発表会・コンクール等がどのような内定であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載してください。			
1. ①「○○○○コンクール」（○○○○主催、2018年○月○日○○市で開催）にて優秀賞受賞			
②当該コンクールは19○○年より開催されている日本を代表する現代アートの国際展である。国際的に活躍するアーティストの作品展示のほか、新進アーティストを広く紹介しており、受賞者は現代アートの分野で国際的に認知される。			
2. ①2017年○月○日～○日まで、○○区の○○画廊にて個展を開催			
②展覧会タイトル：「○○○○○○」			
③『月刊○○○』（2017年○月号）掲載の批評家○○○○氏による記事で高い評価を受けた。			
9. （専攻分野に関連した）スポーツの競技会における成績		資料番号	
10. （専攻分野に関連した）ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績（公益の増進に寄与した研究業績）		資料番号	
①活動名・活動内容：	②活動期間：		
③活動の趣旨／社会的な意義・位置づけ等：			

行数を増やした場合、このタイトル部分は、各ページの一番上に表示されるように位置を調整すること。
3ページ以上になる場合は、各ページの一番上にこのタイトルをコピーすること。また、表面の注意書きを参照して枝番をふること。
例↓
(様式1-2-2)

「資料番号」欄には、各業績に該当する資料の番号を記入すること。

本学選考基準第5条(7)の業績に該当申請要領5ページを参照すること。

本学選考基準第5条(3)の業績に該当申請要領4ページを参照すること。

本学選考基準第5条(6)の業績に該当申請要領5ページを参照すること。

本学選考基準第5条(4)の業績に該当申請要領4ページを参照すること。

本学で該当する業績がないため記入不可。ただし、欄の削除も不可。このまま残しておくこと。

本学選考基準第5条(8)の業績に該当申請要領5ページを参照すること。